

関連機関と連携し、地域リハビリテーション支援センターを中心にリハ提供する体制を確保する。

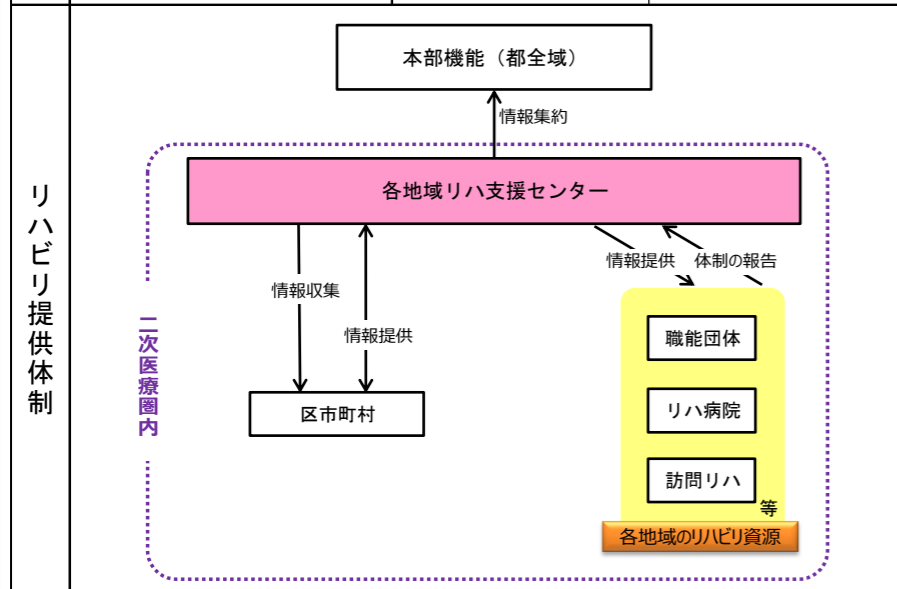
## ① 発災直後・超急性期

### 《時期の説明》

- ・ 発災直後（発災～6時間）
- ・ 超急性期（6時間～72時間）

### 《支援体制イメージ図（たたき台）》

区分	発災直後	超急性期
被害情報の収集・集約	●	
東京DMATの出場	●	→
緊急医療救護所の運営	●	→
傷病者等の被災地域外への搬送	●	→
都医療救護班等の被災地域への派遣	●	→
他県のDMATによる病院支援		●
医療救護所の運営		●
医薬品の供給		●
他県医療救護班の受入れ		●
避難者の定点・巡回診療		●



### 《地域リハ支援センターの主な役割（案）》

- 地域のリハビリ資源の被災状況（リハビリスタッフ、施設、物資、避難所の開設状況など）の把握（情報収集）
- リハビリ資源の被災状況などについて災害医療コーディネーターや行政機関などへ情報提供 など

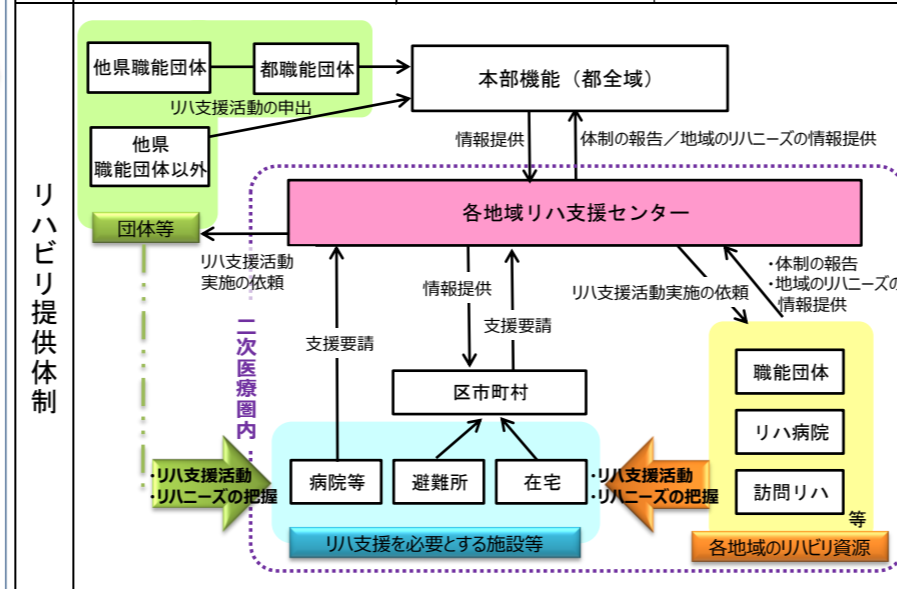
## ② 急性期・亜急性期

### 《時期の説明》

- ・ 急性期（72時間～1週間）
- ・ 亜急性期（1週間～1か月）

### 《支援体制イメージ図（たたき台）》

区分	急性期	亜急性期
被害情報の収集・集約		
東京DMATの出場		
緊急医療救護所の運営		
傷病者等の被災地域外への搬送	→	
都医療救護班等の被災地域への派遣		
他県のDMATによる病院支援		
医療救護所の運営		
医薬品の供給		
他県医療救護班の受入れ	●	
避難者の定点・巡回診療		●



### 《地域リハ支援センターの主な役割（案）》

- 病院や行政機関からのリハビリ支援の要請に対し地域のリハビリ資源をマッチング
- 外部団体からの支援の受入体制の確保及び連絡調整 など

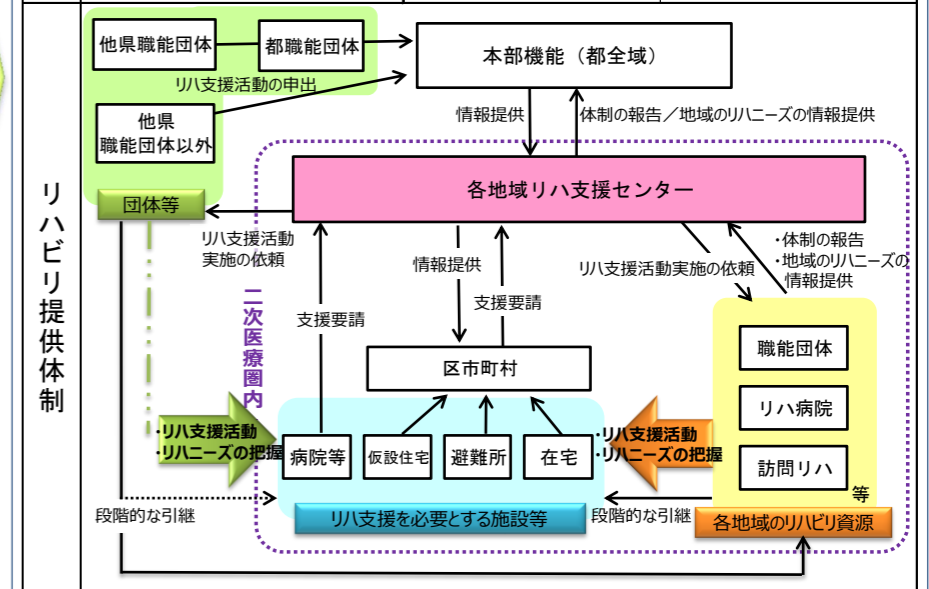
## ③ 慢性期・中長期

### 《時期の説明》

- ・ 慢性期（1か月～3か月）
- ・ 中長期（3か月以降）

### 《支援体制イメージ図（たたき台）》

区分	慢性期	中長期
被害情報の収集・集約		→
東京DMATの出場		
緊急医療救護所の運営		
傷病者等の被災地域外への搬送		
都医療救護班等の被災地域への派遣		→
他県のDMATによる病院支援		→
医療救護所の運営	→	
医薬品の供給	→	
他県医療救護班の受入れ	→	
避難者の定点・巡回診療		→



### 《地域リハ支援センターの主な役割（案）》

- 病院や行政機関からのリハビリ支援の要請に対し地域のリハビリ資源をマッチング
- 主に支援終了に向けて外部団体から地域のリハビリ資源への段階的な引継ぎの調整 など